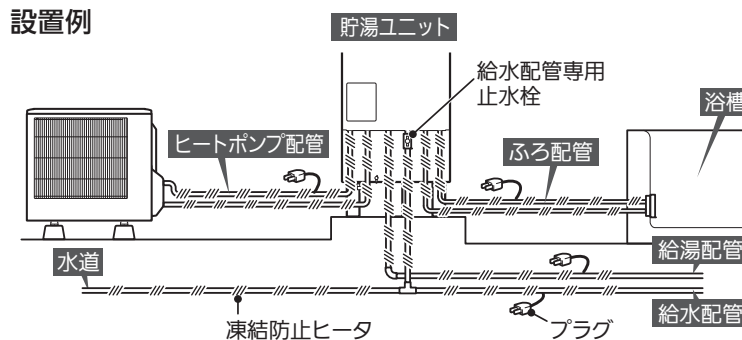


◆準備

凍結が心配される地域(0℃未満になる地域)にお住まいの方は、配管が凍結するおそれがありますので、お買上げの据付工事店(販売店)へ、凍結対策についてご相談ください。

凍結防止ヒータ(市販品)による凍結防止処置

凍結防止ヒータが設置されているときは、すべてのプラグをコンセントに差し込んでください。



給水配管、給湯配管の凍結防止処置

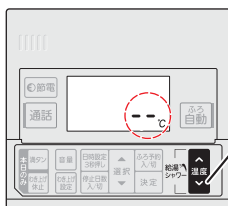
※2012年度モデル以降の機種

保温工事をして、冬期は本体周囲温度が0℃以下になると配管は凍結します。配管が凍結するおそれがある場合は、「少量の水を流し続ける」処置をしてください。

[販売店・工事店様]0℃未満になる地域では必ず凍結防止対策を実施してください。

手順

①夜 お湯を使わなくなったならリモコンの給湯温度を「水」に設定する



給湯温度表示に水設定「水」が出るまで給湯温度設定スイッチ **決定** を押してください。

②給湯栓を少し開き、糸引き状態に水を流す

- 1分間に200mL程度を目安としてください。
- 湯水混合栓のタイプによって開きかたが異なります。



翌朝使用するときは、給湯温度を戻してください。

〈2011年度モデル以前の機種をお使いの方〉

2011年度モデル以前の機種には、上記手順[1]に該当する「水設定」が搭載されておりません。そのため、設定温度を35℃(最低)に設定していただき、給湯栓を少し開き、糸引き状態に水を流してください。このとき水を糸引き状態に開く給湯栓の個数やその流量によって、タンク内のお湯を微量ながら使用することになるため、お湯の使用量が増加し、夜間(昼間)のわき上げ量が増えることがあります。また、流量によっては、リモコンのバックライト(給湯マーク)が点灯します。

★年度別の形名はこちらでご確認いただけます。

◆準備

ふろ配管の凍結予防運転を設定する

入浴後、お風呂のお湯を残しておくことで自動で残り湯を循環して凍結を予防します。

[販売店・工事店様]0℃未満になる地域では必ず凍結防止対策を実施してください。

手順

①凍結予防運転の設定を確認する

機種により有無や番号は異なります。



- 1 湯量 [-] を3秒以上押す
 - 2 給湯温度スイッチ [▲] で「凍結予防運転」を選ぶ
 ● [▲] …1つ進む ● [▼] …1つ戻る
 - 3 ふろ温度スイッチで入/切を決める
 ● [▲] …入になる ● [▼] …切になる
- 通常表示(日時表示)へ戻すとき: [-]を押す
 (スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

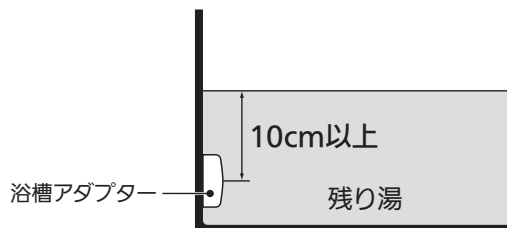
1.ふろ自動時間
(3時間)

8.凍結予防運転
ご使用中の設定

8.凍結予防運転
変更後の設定

②入浴後、排水せず浴槽の湯を残しておく

- 残り湯の目安は浴槽アダプターの中心から約10cm以上です。



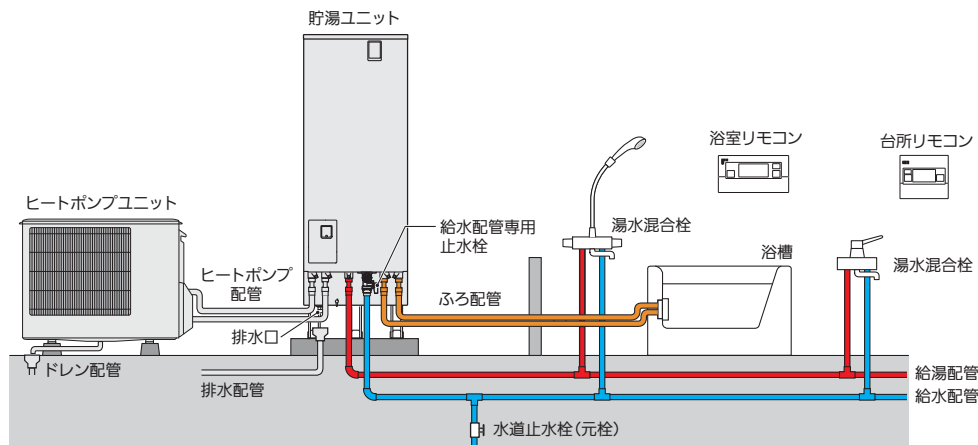
③外気温が下がると、凍結防止のため、ふろ配管に残り湯を自動で循環させます。

◆よくあるお問い合わせ

お湯・水が出ない、湯はりができない

給水・給湯配管、ふろ配管の凍結が考えられます。

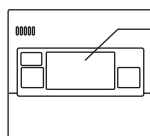
湯水混合栓のハンドルを湯側にして給湯栓を開き、解凍するのをお待ちいただくか、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。



リモコンに文字ガイダンスやエラーが表示される

次の表示がリモコンに表示された場合、配管の凍結が考えられます。

湯水混合栓のハンドルを湯側にして給湯栓を開き、解凍するのをお待ちいただくか、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。



「断水/配管凍結ではありませんか」

「P05」など

※上記表示は、配管凍結以外でも表示されることがあります。

「その他(リモコンの文字ガイダンス、エラー表示)」参照

冬期に多い現象は

- ヒートポンプユニットの運転音は大きくなる場合があります。
- ヒートポンプユニットのフィンに霜が付き、白くなる場合があります。また、付着した霜がファンにあたり、音が出ることがあります。
- 湿度が高いときは、自動で霜取がはたらくため、ヒートポンプユニットの運転音が大きくなる場合があります。
- タンクからの放熱で、お湯を使っていないのに残湯量が減ることがあります。また、タンク内の温度が上がらないこともあります。

お湯がぬるい・弱い

- お湯がぬるく感じるときは、リモコンで給湯温度の設定を上げてください。
- サーモスタットタイプの湯水混合栓をご使用のとき
 - ・給湯温度設定を使用するお湯の温度より10℃以上高くしてください。
 - ・シャワーが弱い場合は、給湯温度設定を60℃にし、水と混ぜてご使用ください。

◆よくあるお問い合わせ

リモコンの文字ガイダンス、エラー表示

★「断水/配管凍結ではありませんか」と表示されるのですが

- 万一、配管が凍結している場合は、凍結がとけたら使えるようになります。解凍するのをお待ちいただくか、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。
 - タンク内に水が無い場合は、タンクを満水にしてください。
 - 給水配管専用止水栓が閉じている場合は、開いてください。
 - 給水ストレーナにゴミが詰まっている場合は、歯ブラシなどでゴミを取り除いてください。
 - 断水時は、断水が終わるまで待ってください。
- ※お湯の使用をやめた後、いずれかのスイッチを押すとメッセージが消えます。

★「P05」と表示されるのですが

おふろの湯はりに異常があるときに表示されます。断水時や、冬場では、配管が凍結して表示することもあります。

- 万一、配管が凍結している場合は、凍結がとけたら使えるようになります。解凍するのをお待ちいただくか、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。
- タンク内に水が無い場合は、タンクを満水にしてください。(蛇口から湯が出る場合は該当しません)
- 給水配管専用止水栓が閉じている場合は、開いてください。(蛇口から湯が出る場合は該当しません)
- 給水ストレーナにゴミが詰まっている場合は、歯ブラシなどでゴミを取り除いてください。
- 断水時は、断水が終わるまで待ってください。

※処置後、ふろ自動などのふろ機能スイッチを押すとエラー表示が消えます。

復帰しない場合は、点検が必要です。給水配管専用止水栓を閉じて、お買上げの据付工事店(販売店)や「弊社修理受付窓口」へ点検・修理をご依頼ください。(据付直後の場合には、お買上げの据付工事店や販売店へご連絡ください。)

★「P37」と表示されるのですが

ふろ自動での湯はりや追いだきに異常があるときに表示されます。

冬場では、ふろ配管が凍結して発生することもあります。万一、配管が凍結している場合は、凍結がとけたら使えるようになります。解凍するのをお待ちいただくか、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。解凍後エラーをいったん解除し、再度ふろ自動をお試しくささい。凍結が原因でない場合は、点検が必要です。給水配管専用止水栓を閉じて、お買上げの据付工事店(販売店)や「弊社修理受付窓口」へ点検・修理をご依頼ください。(据付直後の場合には、お買上げの据付工事店や販売店へご連絡ください。)

★「F06」と表示されるのですが

おふろの湯はりに異常があるときに表示されます。冬場では、原因のひとつとして、配管が凍結していることが考えられます。この場合は、給水配管専用止水栓を閉じて、お買上げの据付工事店(販売店)や「弊社修理受付窓口」へ点検・修理をご依頼ください。(据付直後の場合には、お買上げの据付工事店や販売店へご連絡ください。)

★「C03、103、C19、C20、120、C21、C23、C26、C27、C30」と表示されるのですが

わき上げが正常にできない状態です。ヒートポンプ配管内の水が正しく循環できていない可能性があります。冬場では、配管が凍結することで発生することもあります。万一、配管が凍結している場合は、凍結がとけたら使えるようになります。解凍するのをお待ちいただくか、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。

据付直後の場合は、偶発的なエア噛みがあることでエラー表示することもあります。ヒートポンプ配管のエア抜き運転を実施することで正常に復帰することがあります。エア抜き運転、エラー解除方法については、お買上げの販売店にご相談、または据付工事説明書をご確認ください。

また、ヒートポンプ配管に止水栓、水漏れや配管のつぶれ、配管のつまりがある場合は点検が必要です。給水配管専用止水栓を閉じて、お買上げの据付工事店(販売店)に点検・修理をご依頼ください。それでも解決しない場合は、「弊社修理受付窓口」へ点検・修理をご依頼ください。

エラー表示の解除方法	台所リモコンの「日時設定スイッチ」と「給湯温度▼スイッチ」を3秒以上同時に押す	2016年度モデル以降
	台所リモコンの「時計合わせスイッチ」と「給湯温度▼スイッチ」を3秒以上同時に押す	2008年～2015年度モデル
	台所リモコンの「タンク内湯温表示スイッチ」と「給湯温度▼スイッチ」を3秒以上同時に押す	2007年度モデル以前

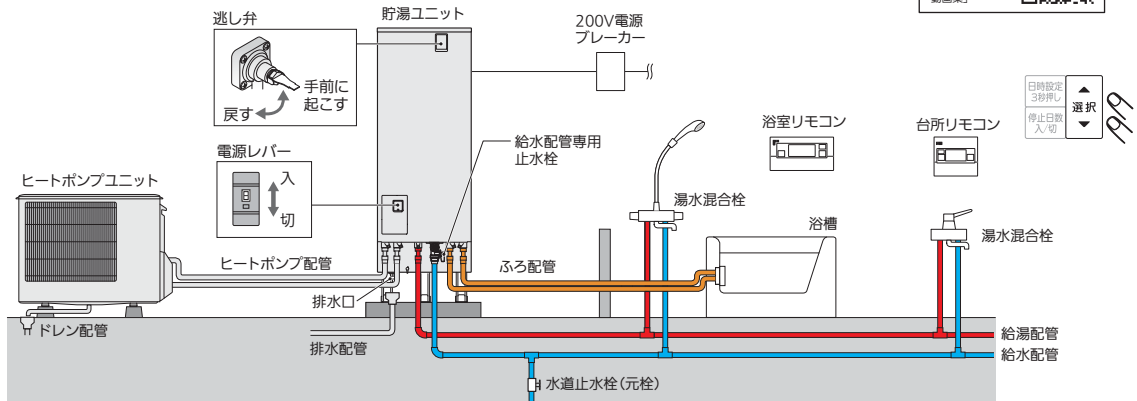
◆よくあるお問い合わせ

冬場に1ヶ月以上機器を使用しないとき

通常は以下の手順で給湯機と配管内の水を抜いてください。
 ただし、**外気温が0℃未満の場合**は、タンクの水は抜かず、電源を入れたままにしておいてください。厳寒期は排水中に凍結し、機器が破損する場合があります。
 ※凍結するおそれのある地域でご使用の場合は、当社修理窓口に機器の水抜きをご依頼いただくことも可能です。

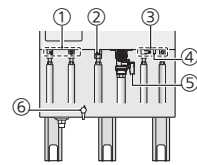
★水抜き手順は下記HPの「よくあるご質問 動画集」で確認いただけます。

<http://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/faqmovie/index.html?category=srt>

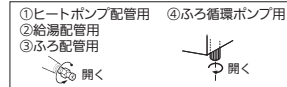


水抜き栓、排水栓、給水ストレーナ、給水配管専用止水栓の取付位置

貯湯ユニット



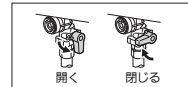
水抜き栓(①~④)の操作



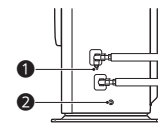
排水栓(⑥)の操作



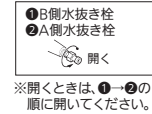
給水配管専用止水栓(⑤)の操作



ヒートポンプユニット



水抜き栓(①②)の操作



手順

①準備

- 前日からタンクのお湯を抜くことがわかっている場合は、前日にわき上げ停止日数を「2日」に設定し、わき上げを停止しておく
 ※当日お湯を抜く場合でも、わき上げ停止日数を「2日」に設定する

②タンク内のお湯を水にする

- 湯水混合栓(例えば台所など)を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出します。熱いお湯が出なくなったら閉じてください。

③機器のエア抜き運転をする

- 台所リモコンの選択スイッチ「▲」「▼」を同時に3秒以上押す
 ●エア抜き運転中はリモコンに「エア抜き」が表示されます。約40秒エア抜きしてください。約10分間で自動停止します。

④エア抜き中に電源を切る

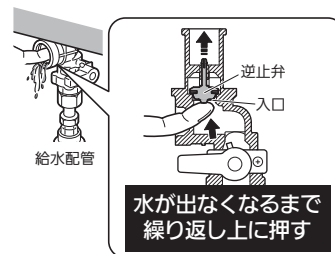
- 貯湯ユニットの電源レバーを「切」にする
- 200V電源ブレーカーを「切」にする

⑤貯湯ユニット内の水を排水する

- 貯湯ユニットに脚部カバーが付いている場合は外す
- 給水配管専用止水栓(⑤)を閉じる
- 逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
- 排水栓(⑥)を開く
 - タンクの水(お湯)が抜けるまでに約80分(薄型タイプは約140分)かかります。
 - 排水ホッパーから排水があふれないように調整してください。
 - 排水直後に逃し弁のレバーを戻さないでください。

⑥排水後、機器(配管)の水抜きをする

- ヒートポンプユニットの配管カバーを外す
- 水抜き栓(①)を開く
- 水抜き栓(②)を開く
- 貯湯ユニットの水抜き栓(①~④)、非常用取水栓(薄型のみ)を開く
 - 水抜き栓、非常用取水栓から水が出なくなるまで開けてください。
- 給水ストレーナを外し、逆止弁を押して残水を抜く



⑦水抜き完了後の処置

- 水抜き完了後、1時間程度放置してから水抜き栓、排水栓、逃し弁を閉じ給水ストレーナを取り付ける
 ●ヒートポンプユニットの水抜き栓に異物が付着していないか確認してください。
- 配管カバー、脚部カバーを取り付ける

お願い

- 凍結防止ヒータが設置されている場合は、凍結防止ヒータの電源を切らないでください。凍結防止ヒータの電源を切る場合は、据付工事店(販売店)へご連絡ください。

◆よくあるお問い合わせ

★「P21」と表示されるのですが

給湯時に湯の温度が正常に作られない場合に表示されます。冬期の場合、原因の一つとして、配管が凍結していることが考えられます。万一、配管が凍結している場合は、凍結が解けたら使えるようになります。解凍するのをお待ちいただくか、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。

◆万一、凍結が発生した場合

万一、配管が凍結している場合は、凍結が解けたら使えるようになります。解凍するのをお待ちいただくか、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。